# 2026年度廃止申請予定JASO一覧

（公社）自動車技術会

## ＜JASO 10件＞

| No | 部会 | 規格番号 | 規格名称 |
|---|---|---|---|
| 1 | 車両通信部会 | D015-3 | 自動車－クロックエクステンションペリフェラルインタフェース（CXPI）<br>－第3 部:プロトコル仕様 |
| 2 | 車両通信部会 | D015-5 | 自動車－クロックエクステンションペリフェラルインターフェース（CXPI）<br>－第5部：プロトコルコンフォーマンステスト仕様 |
| 3 | 車両通信部会 | D015-6 | 自動車－クロックエクステンションペリフェラルインタフェース（CXPI）<br>－第6部：CXPIコントローラ仕様＆コンフォーマンステスト仕様 |
| 4 | ビークル<br>ダイナミクス | Z220 | 自動車-安全システム関連用語集 |
| 5 | パワートレイン | TP7002 | ガソリンエンジン・ディーゼルエンジン排出ガス中の1-ニトロピレン測定方法の検討 |
| 6 | パワートレイン | TP7003 | ガソリンエンジン・ディーゼルエンジン排出ガス中のアンモニア測定方法の検討 |
| 7 | パワートレイン | TP7004 | ガソリンエンジン・ディーゼルエンジン排出ガス中の<br>多環芳香族炭化水素類測定方法の検討 |
| 8 | 人間工学 | M330 | 自動車用硬質プラスチックグレージング材 |
| 9 | 要素 | F121 | 自動車部品－つば付きなべ小ねじ |
| 10 | 材料 | M405 | 自動車用排気系断熱材 |

J　I　S

J　A　S　O

# 廃止提案書

2026 年　月　日

車両通信部会

| | |
|---|---|
| 1．対象規格 | JASO D015 - 3<br>JASO D015 - 5<br>JASO D015 - 6 |
| 2．廃止の背景と理由 | ・調査の結果、ISO20794 規格制定済みであり廃止となっても問題無し。また、活用しているものの廃止となっても不都合が無いことが判明した。 |
| ・3．廃止後の対応 | **完全廃止（移行規格なし）** |
| 4．この規格を引用している法規・規格の有無 | 無<br>（有の場合）<br>規格・法規 |
| 5．4．によって想定される影響・対応法 | 特に無し |

以上

J　I　S

J　A　S　O

# 廃止提案書

2026 年 7 月 24 日
ビークルダイナミクス部会
アクティブセーフティ分科会

| | |
|---|---|
| １．対象規格 | Z220:2015 自動車-安全システム関連用語集 |
| ２．廃止の背景と理由 | この分野は昨今多様化が進み，また提供している企業における名称や機能分類も統一されていない現状があり，現状文書として精度を維持するには通常の改正インターバルでは正確性を保てない可能性がる．<br><br>一方，規格自体を活用されている実態はあるが，正確性は別としても昨今の AI エージェント進化は目覚ましく，用語をより迅速かつ広い範囲で手軽に調べることが可能になりつつあり，これまでの活用の仕方をカバーできるまでに至っている．<br><br>これらを鑑み，本規格はすでに一定の役割を終えたと考えることができるので，廃止することに分科会全会一致で同意に至った |
| ３．廃止後の対応 | **完全廃止（移行規格なし）**<br>**移行（規格番号：　　）** |
| ４．この規格を引用している法規・規格の有無 | 有　・　無<br>（有の場合）<br>規格・法規 |
| ５．４．によって想定される影響・対応法 | 影響なしと考える |

以上

J　I　S

J　A　S　O

# 廃止提案書

2026 年　8 月　21 日
パワートレイン　部会

| | |
|---|---|
| １．対象規格 | JASO TP 7002:2008<br>**ガソリンエンジン・ディーゼルエンジン排出ガス中の 1-ニトロピレン測定方法の検討** |
| ２．廃止の背景と理由 | 本 TP は、JAMA の未規制物質分科会で作成した「ガソリン・ディーゼルエンジン排出ガス中の 1-ニトロピレン測定法」をベースに測定方法の問題点を取りまとめ、2008 年に制定されたものである。<br><br>本 TP には、<br>・分析に時間がかかる。(65 分)<br>・計測に用いる還元カラムが市販されていない。<br>など、いくつもの問題点が指摘されてあり、極めて専門性が高く測定には解決すべき課題も多いと明記されている。<br><br>本 TP は前述のように専門性が高く、分科会内では現在では活用例が無い。<br>役割を充分果たしたものと考え、廃止を提案する。 |
| ・３．廃止後の対応 | **完全廃止（移行規格なし）**<br>**移行（規格番号：　　）** |
| ４．この規格を引用している法規・規格の有無 | 有　・　(無)<br>(有の場合)<br>規格・法規 |
| ５．４．によって想定される影響・対応法 | 特になし |

以上

J　I　S

J　A　S　O

# 廃止提案書

2026 年　8 月　21 日
パワートレイン　部会

| | |
|---|---|
| １．対象規格 | JASO TP 7003:2008<br>**ガソリンエンジン・ディーゼルエンジン排出ガス中のアンモニア測定方法の検討** |
| ２．廃止の背景と理由 | 本 TP は、JAMA の未規制物質分科会で作成した「ガソリン・ディーゼルエンジン排出ガス中のアンモニア測定法」をベースに測定方法の問題点を取りまとめ、2008 年に制定されたものである。<br><br>本 TP の測定手法はクロマトグラフィーを使用したものであるが、現在はレーザーを用いた TDLAS などが簡便に計測できるため広く用いられており、分科会内では現在では活用例が無い。<br>本 TP は役割を充分果たしたものと考え、廃止を提案する。 |
| ・３．廃止後の対応 | **完全廃止（移行規格なし）**<br>**移行（規格番号：　　）** |
| ４．この規格を引用している法規・規格の有無 | 有　・　(無)<br>（有の場合）<br>規格・法規 |
| ５．４．によって想定される影響・対応法 | 特になし |

以上

J　I　S

J　A　S　O

# 廃止提案書

2026 年　8 月　21 日
パワートレイン　部会

| | |
|---|---|
| １．対象規格 | JASO TP 7004:2008<br>**ガソリンエンジン・ディーゼルエンジン排出ガス中の多環芳香族炭化水素類測定方法の検討** |
| ２．廃止の背景と理由 | 本 TP は、JAMA の未規制物質分科会で作成した「ガソリン・ディーゼルエンジン排出ガス中の多環芳香族炭化水素類測定法」をベースに測定方法の問題点を取りまとめ、2008 年に制定されたものである。<br><br>本 TP の測定手法はクロマトグラフィーを使用したものであるが、排出ガス中の多環芳香族炭化水素類は非常に微量であり、FID などの排出ガス分析計で計測している HC 成分のうち 1/1000 レベルの量であることがわかったため、エンジンの試験としては計測する必要性が低い。<br>従って、本 TP は役割を充分果たしたものと考え、廃止を提案する。 |
| ・３．廃止後の対応 | **完全廃止（移行規格なし）**<br>**移行（規格番号：　　）** |
| ４．この規格を引用している法規・規格の有無 | 有　・　(無)<br>（有の場合）<br>規格・法規 |
| ５．４．によって想定される影響・対応法 | 特になし |

以上

J　I　S

J　A　S　O

# 廃止提案書

年　月　日

部会

| | |
|---|---|
| １．対象規格 | M330 |
| ２．廃止の背景と理由 | ・実際のところ使用していない。<br>・JIS R 3211 と JIS R 3212 には 有機ガラスからなる自動車用安全ガラスとその試験方法が定められているので、本JASO を使用していない。 |
| ・３．廃止後の対応 | **完全廃止（移行規格なし）** |
| ４．この規格を引用している法規・規格の有無 | 有　・　(無)<br>(有の場合)<br>規格・法規 |
| ５．４．によって想定される影響・対応法 | 影響なし。 |

以上

J　I　S

J　A　S　O

# 廃止提案書

2026 年　8 月　7 日

要素部会

| | |
|---|---|
| １．対象規格 | JASO F121:2019 自動車部品－つば付きなべ小ねじ |
| ２．廃止の背景と理由 | 2026 年度ボルト・ナット分科会において定期見直し調査を実施した結果，本規格の活用実態は確認されず，要求事項については JIS 及び各社規格で対応可能であることを確認した。このため，本規格を独立して維持する意義は低下しており，規格体系の重複解消及び維持管理の効率化を図る観点から，規格体系の簡素化，維持管理負荷の低減並びに最新の運用実態との整合を目的として，本規格の廃止を提案する。 |
| ・３．廃止後の対応 | **完全廃止（移行規格なし）**<br>**移行（規格番号：　　）** |
| ４．この規格を引用している法規・規格の有無 | 有　・　無<br>（有の場合）<br>規格・法規 |
| ５．４．によって想定される影響・対応法 | 影響なし |

以上

J　I　S

J　A　S　O

# 廃止提案書

2026 年　8 月　5 日

材料部会

| | |
|---|---|
| １．対象規格 | M405:1987　自動車用排気系断熱材 |
| ２．廃止の背景と理由 | 本規格は、自動車の排気フロントチューブおよび触媒遮断板に使用する断熱材の性能・試験方法を定めた規格である。<br>本規格は 1987 年に制定されてから 39 年経過しており、定期見直しにおいて実施した活用状況調査の結果、現在活用している実績は確認されませんでした（活用：11 社中 0 社)。<br>維持や内容の見直しに対する要望はなく、廃止されたとしても影響はないと考え、本規格の役割を終えたと判断されたため、廃止を提案する。 |
| ・３．廃止後の対応 | **完全廃止（移行規格なし）**<br>**移行（規格番号：　　）** |
| ４．この規格を引用している法規・規格の有無 | 有　・　無<br>（有の場合）<br>規格・法規 |
| ５．４．によって想定される影響・対応法 | 無し。 |

以上